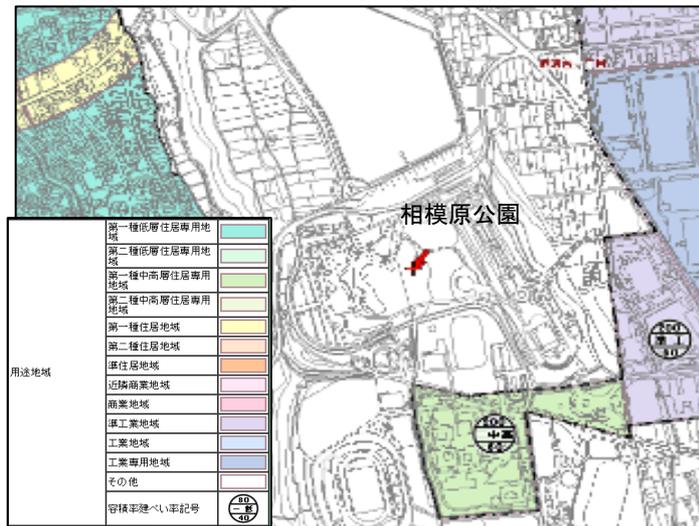


県立都市公園基礎データ

公園名	相模原公園
公園の特徴	本公園は、起伏の緩やかな相模原河岸段丘に立地する総合公園であり、昭和54年に供用を開始しました。県央地域の市街化が進展する中であって、県央地区の一大レクリエーションゾーンとして、多くの県民に親しまれています。 公園内は大温室とアトリウムの複合建築であるグリーンハウスや広大な「芝生広場」、長大な「カナルと噴水」を配置し、周囲は曲園路が巡る伸びやかな雰囲気を感じさせるつくりとなっています。公園の中核的な施設である噴水広場はフランス式庭園となっていますが、細部には「流れ」や「水無月園(菖蒲田)」といった和風の手法を用いた施設も配置されています。また、県立都市公園初のドッグラン場が整備され、ボランティア団体等と協働し、「人と犬が共に楽しめる公園」を目指した仕組みづくりなど、様々な活動に積極的に取り組んでいます。
アクセス	小田急線「相模大野駅」北口より、神奈中バス原当麻駅・古山経由上溝行約20分、「相模原公園前」で下車 JR相模線「原当麻駅」北口より、神奈中バス北里経由小田急相模大野駅行約5分、「相模原公園前」で下車 圏央道相模原「愛川IC」から約10分
駐車場台数	大型5台、普通282台(うち身障者用8台、EV充電用3台)(有料)
主要施設	噴水広場、森の木展望台、ドッグラン、芝生広場、きらめきの流れ、こもれびの径、水無月園、サカタのタネグリーンハウス、遊具広場、緑の街、せせらぎの園
既設収益施設	サカタのタネグリーンハウス、カフェ(サカタのタネグリーンハウス内)、軽飲食店
建ぺい率	1.60%
H29年度来園者数	769,095人
管理手法	指定管理者制度
用途地域等	市街化調整区域
主な法規制等	首都圏近郊緑地保全区域(相模原近郊緑地保全区域)、埋蔵文化財包蔵地、鳥獣保護区

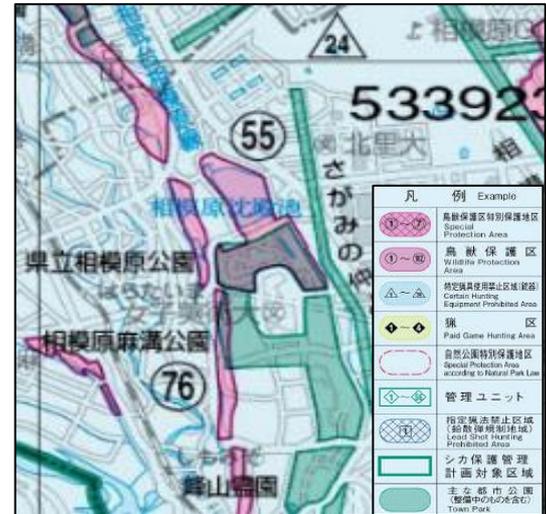
都市計画図(出典:相模原市ホームページ)



埋蔵文化財包蔵地(出典:相模原市ホームページ)



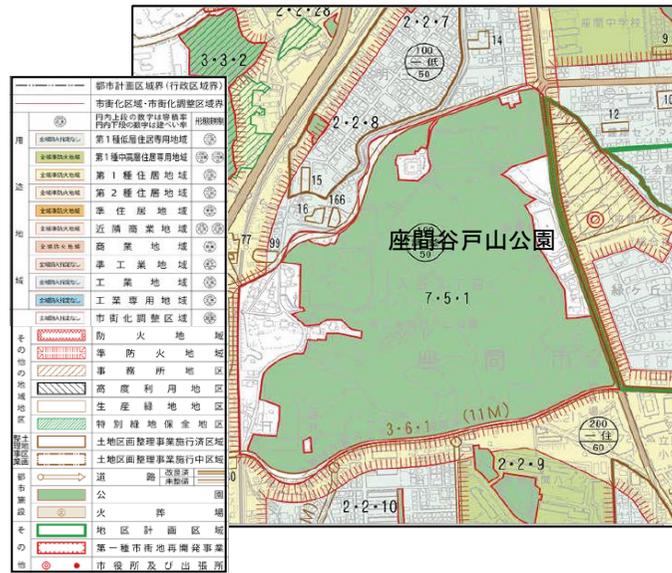
鳥獣保護区等位置図(出典:神奈川県ホームページ)



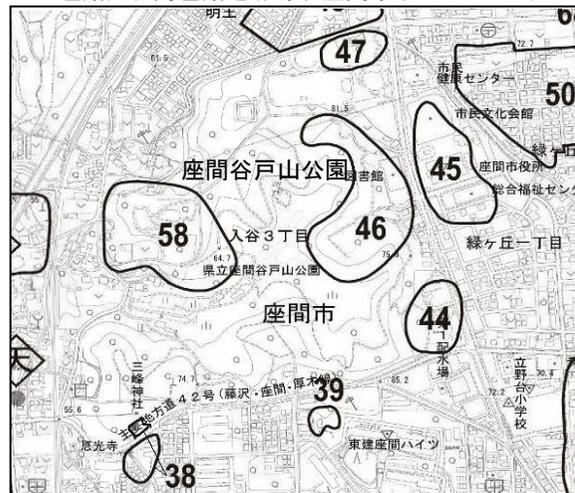
県立都市公園基礎データ

公園名	座間谷戸山公園
公園の特徴	本公園は、自然生態観察公園(アーバンエコロジーパーク)として全国で初めて整備されており、谷戸が育む多様な自然環境に生息する多くの生き物を身近に観察ができ、都市部において手軽に身近な自然とふれあえることができる風致公園です。
アクセス	小田急線「座間駅」から徒歩で約10分
	小田急線「相武台前駅」から徒歩で約15分
	東名高速道路「横浜町田IC」より約20分
駐車場台数	普通車146台(東入口駐車場78台、北入口駐車場39台、多目的広場駐車場29台)(無料)
主要施設	里山体験館、パークセンター、野鳥観察小屋、ログハウス、水鳥の池、湿生生態園、クヌギ・コナラ観察林、シラカシ観察林
既設収益施設	テニスコート
建ぺい率	0.35%
H29年度来園者数	430,578人
管理手法	指定管理者制度
用途地域等	市街化調整区域
主な法規制等	埋蔵文化財包蔵地、鳥獣保護区

都市計画図(出典:座間市ホームページ)



埋蔵文化財包蔵地(出典:座間市ホームページ)



鳥獣保護区等位置図(出典:神奈川県ホームページ)



県立座間谷戸山公園

凡例

-  開園区域
-  未開園(用地取得済み)区域
-  事業化検討区域

